

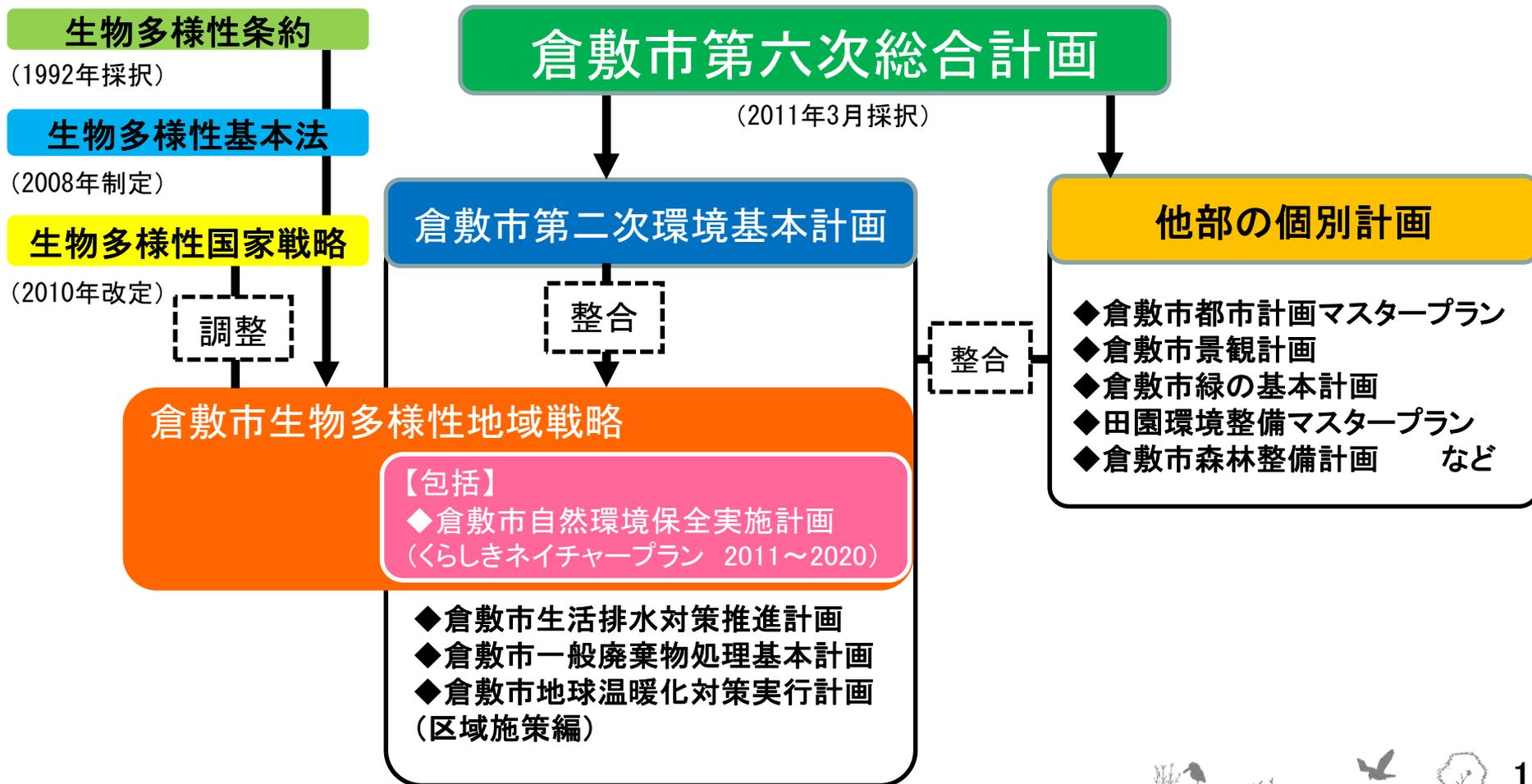
倉敷市生物多様性地域戦略 短期的目標(2020年度)の評価について

地球のいのち、つないでいこう

生物多様性

倉敷市生物多様性地域戦略の位置づけ

倉敷市第二次環境基本計画のうち、生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する項目を担う



倉敷市生物多様性地域戦略策定の経緯

生物多様性基本法 (平成20年(2008年)6月施行)

<第13条第1項>

都道府県及び市町村は、(中略)生物の多様性の保全及び持続可能な利用に関する基本的な計画(生物多様性地域戦略)を定めるよう努めなければならない

生物多様性国家戦略2010 (平成22年(2010年)3月閣議決定)

■基本戦略・・・「生物多様性を社会に浸透させる」

・都道府県をはじめ地方公共団体が、それぞれの地域の特性に応じて生物多様性戦略をつくることが不可欠

倉敷市第二次環境基本計画 (平成23年(2011年)3月策定)

■基本目標1 環境と地域の社会・経済との調和が保たれ、豊かな自然と魅力的な景観を有しているまち

【主要な施策】(前略)～生物多様性基本法に基づく生物多様性戦略を策定し、市内の生物多様性の保全に努めます。

倉敷市生物多様性地域戦略の目標期間

■ 戦略の短期的目標年次: 令和2(2020)年度

- ・上位計画である「倉敷市第二次環境基本計画」との整合性を考慮
- ・生物多様性の普及啓発の推進と、生物多様性の持続的利用に向けた基盤づくりを行う期間



倉敷市自然環境保全実施計画(くらしきネイチャープラン)の
数値目標・取り組みの実施状況・実施計画を包括

■ 戦略の長期的目標年次: 令和32(2050)年度

- ・岡山県の生物多様性地域戦略「自然との共生おかやま戦略」との整合性を考慮
- ・自然再生や社会基盤の再構築の取り組みもすすめる期間



倉敷市生物多様性地域戦略に係る行動計画

基本目標

1. 倉敷の生態系の状況と生き物と暮らしとのつながりを把握する。
2. 身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全，回復，再生する。
3. 生物多様性の恩恵を持続的に受けられるように自然資源を利用する。
4. 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

取り組み

1. 生物多様性調査の実施
2. 生物多様性に係る情報の整備・充実
1. 総合的・計画的な保全体系の拡充
2. 地域の自然と生態系ネットワークの保全
3. 地域ごとの自然環境の保全
4. 重要地区の保全
5. 希少野生生物の生息・生育環境の保全
6. 外来生物対策
1. 環境配慮型農業と地産地消の推進
2. 生物多様性に配慮した地域開発と産業・事業活動の促進
1. 市民への環境学習機会の提供
2. 支援者、指導者の育成
3. 子どもたちへの環境教育の充実
4. 社会貢献活動や自然共生圏を意識した地域交流経済活動の支援
5. エコツーリズム等の推進
6. 自然とのふれあいの促進

恵み豊かな瀬戸内の自然を、未来に向けてみんなの手で引き継いでいるまち倉敷



短期的目標(2020年度)

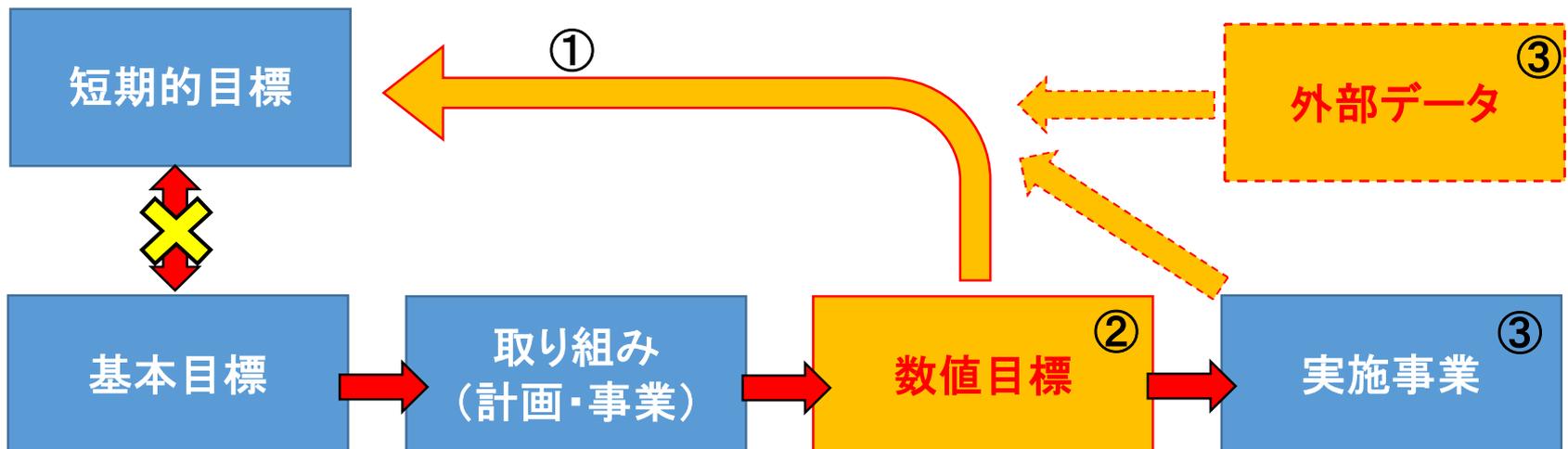
■ 短期的目標(2020年度)

- ①生物多様性の損失を食い止め、継続的利用ができるようになっており、より豊かにする取り組みを始めている。
- ②生物多様性保全に係る総合的・計画的な施策体系が確立されている。
- ③市域の生態系を構成する森・山、河川・水辺、海域・海辺・海岸などの自然生態系、里地・里山、農用地、ため池などの人と自然のふれあいに係る生態系、および市街地の都市公園・緑地等の生態系が保持されるようになっている。
- ④地域の希少な生物種・生態系が保全され、その生息・存続を確かにする状態となっている。
- ⑤生物多様性に係る調査・研究により、必要な情報が整備されて広く共有されるとともに、生物多様性に係る地域評価手法を確立させる。
- ⑥生物多様性保全に係る望ましい環境像と社会の関係に関する自身の考え方、すなわち「環境観」が、現状よりも多くの市民に理解される地域となっている。



短期的目標の評価方法

- ・令和元年度第2回審議会で、検討した評価方法は次のとおり。
これまで短期的目標と基本目標の連携ができていなかったため、
 - ①短期的目標に数値目標を関連づけた。
 - ②関連づけした数値目標の達成度を評価し、短期的目標の評価を行うこととした。
 - ③数値目標だけでは短期的目標の評価が不十分な場合、外部の統計資料などの活用を検討することとした。



短期的目標と数値目標の関連付け①

倉敷市生物多様性地域戦略の短期的目標評価(～2020年度)の評価項目 【数値目標→短期目標】

基本目標1 倉敷の生態系の状況と生き物と暮らしとのつながりを把握する。

番号	項目	基準値	基準年度	実績	傾向	目標値	短期的目標			
1	自然環境基礎調査	1地区 (真備町妹)	2013 (H25)			継続実施	短期目標5	①生物多様性に係る調査・研究ができています ②必要な情報が整備され、広く共有されている		

基本目標2 身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全、回復、再生する。

1	自然環境に配慮したまちづくりができていると思う人の割合(倉敷市第六次総合計画指標)	27.4%	2009 (H21)			54%	短期目標3	③都市公園・緑地等の生態系が保持されている		
2	地域の自然保護・環境保全に配慮した取り組みを行っている人の割合(倉敷市第六次総合計画指標)	38.4%	2011 (H23)			72%	短期目標1	①生物多様性の損失を食い止めている ②生物多様性の持続的利用ができています ③生物多様性をより豊かにする取り組みを始めている	短期目標6	①環境観が市民に理解されている
3	多様な生き物が生息している自然環境が身近にあると感じている人の割合(倉敷市第六次総合計画指標)	32.5%	2009 (H21)			56%	短期目標3	②人と自然のふれあいに係る生態系が保持されている		
4	都市公園の目標水準	7.79㎡/1人	2005 (H17)			10㎡/1人	短期目標3	③都市公園・緑地等の生態系が保持されている		
5	特定外来生物の防除	306頭: ヌートリア	2012 (H24)			被害額の低減及び生息頭数の減少	短期目標1	①生物多様性の損失を食い止めている		
6	自然環境に配慮した工法により整備された、河川やため池、護岸等の工事件数(H23年度からの積み上げ件数)	5件	2011 (H23)			100件	短期目標4	②希少な生物種・生態系の生息・存続を確かにする状態になっている		
7	温室効果ガス排出量の抑制(市内全域)	3,957万トン	2007 (H19)			3,482万トン	短期目標3	①自然生態系が保持されている ②人と自然のふれあいに係る生態系が保持されている ③都市公園・緑地等の生態系が保持されている		
8	市内で下水道を利用できる人の割合	71%	2010 (H22)			77.0%	短期目標3	③都市公園・緑地等の生態系が保持されている		
9	合流式下水道を改善した面積の割合	22%	2010 (H22)			100%	短期目標3	③都市公園・緑地等の生態系が保持されている		



短期的目標と数値目標の関連付け②

基本目標3 生物多様性の恩恵を持続的に受けられるように自然資源を利用する。										
1	地域の自然保護・環境保全に配慮した取り組みを行っている企業の割合(倉敷市第六次総合計画指標)	41.7%	2010 (H22)			60%	短期目標1	①生物多様性の損失を食い止めている ②生物多様性の持続的利用ができている ③生物多様性をより豊かにする取り組みを始めている	短期目標6	①環境観が市民に理解されている
2	「環境保全型農業直接支援対策」取組面積	2,172a	2012 (H24)			3,000a	短期目標1	②生物多様性の持続的利用ができている		
3	市民農園区画数	771区画	2012 (H24)			現状維持	短期目標1	②生物多様性の持続的利用ができている		
4	新規就農者数	8人	2012 (H24)			10人	短期目標1	②生物多様性の持続的利用ができている		
5	有機JAS認定農業者数(団体)	8団体	2012 (H24)			10団体	短期目標1	②生物多様性の持続的利用ができている		
6	おかやま有機無農薬農産物生産農業者数(団体)	6団体	2012 (H24)			10団体	短期目標1	②生物多様性の持続的利用ができている		
基本目標4 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。										
1	自然の中で遊ぶことが楽しいと思っている子どもの割合(倉敷市第六次総合計画指標)	87.6%	2009 (H21)			95%	短期目標6	①環境観が市民に理解されている		
2	親子・家族で日常的に自然にふれあえる場があると思う人の割合(倉敷市第六次総合計画指標)	58.4%	2009 (H21)			77%	短期目標3	②人と自然のふれあいに係る生態系が保持されている		
3	身近な自然を守る活動を行っている人の割合(倉敷市第二次環境基本計画指標)	10.9%	2009 (H21)			20%	短期目標3	②人と自然のふれあいに係る生態系が保持されている		
4	自然がかげがえの無い大切なものだと感じている子供の割合(倉敷市第六次総合計画指標)	71.7%	2009 (H21)			95%	短期目標6	①環境観が市民に理解されている		
5	自然にふれる活動に参加している子どもの数(倉敷市第六次総合計画指標)	14,537人	2009 (H21)			19,700人	短期目標6	①環境観が市民に理解されている		

